



2020. 3. 16

ひなご幼稚園園長 神戸洋美

### 的確な情報と冷静な対応力で

私も幼児教育に携わって40年以上経ちますが、こんな体験は初めてです。これまでインフルエンザ流行による学級閉鎖は時々ありましたが、全国の小中学校・高校が一斉に休校になるなんて過去に例がありません。

さて、2週間春休みという形をとって新型コロナウイルス感染状況を見てきました。感染は治まってはいませんが、感染経路や予防対策などが明確になってきたことと、幼児の感染例はあっても重症例がないこと等を考慮し、きちんと予防対策を取りながら保育を再開することに決定しました。

皆様が驚かれたのは、全学年対象に再開することだと思います。

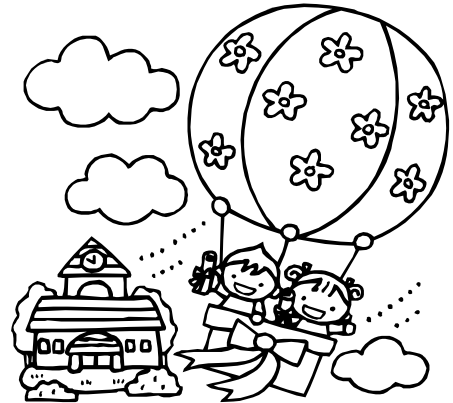
卒園式が終わっても最後の終業式まで年長さんが参加する？問い合わせのお電話もありました。卒園してからも幼稚園に行くなんて、と不思議に思われたかもしれませんが、過去にこんな例があったのです。

私がこの園に勤めてあれから40年。別の園で修行してから春日井のひなごで年長組を担当しました。卒園式で大泣きした私を見て、「鬼の目にも涙」と先輩教諭から言われ、卒園児を見送ったあくる日……。卒園児がバス停で待っていて、私服で乗り込んで来るではありませんか。前の幼稚園ではなかった光景に、私は「なんじゃこりゃあ」と反発心が起きました。昨日で気持ちを切り離して涙で見送ったのに、次の日にまた幼稚園に来る！昔は卒園式が終わったら半日保育だったため、卒園児は幼稚園で半日遊んで、またバスで帰るという毎日が終業式前日まで続いていたのです。驚愕した私も数年で慣れ、卒園式の次の日に卒園児が遊びに来る、という「おおらかさ・ゆるゆるさ」に慣れました。

時代は流れ、現在では責任問題や補償問題等の規制が厳しくなり、段々「おおらかさ」が失われてしまいました。もちろん、ケガや事故が起きた時の対応を考えれば、今となっては当然許されることではありませんが、「何かあったらどうする」というマイナス方向ではなく、「何かあったらみんなで何とかしよう」というプラス方向のおおらかさがあった時代を、今回のことで懐かしく思い返しました。

新型コロナウイルスは全世界に感染が広がり、人々の生活も経済も不透明感が漂い、大変な状況になってきました。SNSで間違った情報も拡散され、人々の不安をあおり、日本だけでなく全世界の人が右往左往している状態です。患者数も、陽性でも発症しない人もいることと、直接効く薬がまだ発見されていないため、感染が広がっています。でも「夜明けの来ない夜はない」必ず治まる日が来るはずです。

感染予防には一人ひとりの自覚と協力が大切です。予防対策はインフルエンザと同様で、「手洗い・うがいの励行、不要不急の外出を避ける、免疫力をつける」しか今のところ方法はありません。的確な情報を把握し、冷静な対応を心がけましょう。感染の終息を心より願っています。



### 皆様のお気持ちに支えられて



この1年、「めばえ」を書き続けてきました。お付き合い頂いたことに心より感謝申し上げます。でも皆様に届いているのかな？読んで頂けてるのかな？という不安に襲われながらの1年でした。そんな私に、ある園児のお父様から「いつもめばえを読んでいます。感動しています。」とお声をかけて頂いたのです。その後ろからお母様が「感激して涙を流しながら読んでますって、言わなきゃ。」と。その言葉に涙したのは私の方でした。

自分の子育ての反省も含めながら、時には壁にぶつかって落ち込む自分を奮い立たせながら、コツコツと書き溜めた「めばえ」でした。足りない私を励まし導いてくださった保護者様、いつも笑顔で私を迎えてくれた子どもたちに心より感謝申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。